

2024年度 就職先企業等を対象とした Web アンケート調査(概要版)

本調査の概要

立教大学では、卒業生の就職先企業等を対象とした「就職先企業等に対する調査」を実施しています。以下では、結果の概要をご紹介します。調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。立教大学では今回の結果を各学部等や事務局など全学で共有し、これからの教育改善・充実に活かしてまいります。

調査目的：本学学部卒業生の学修成果や、さらに伸ばすべき能力、また、産業界からのニーズ等について就職先企業等から客観的な意見を聴取し、本学の教育およびキャリア支援の現状を把握するとともに、教育改善を図るための基礎的情報を収集する。また、その結果を学内外に公表することによって、広く社会に向けて説明責任を果たす。

調査対象者：本学学部卒業生の就職先企業等の人事担当者。対象企業は、卒業後調査の対象者となる卒業後3年（2021.3卒）前後の本学学部学生の就職実績、および、本学学部学生の就職希望者の多い企業328社*をキャリアセンターにおいてリストアップしたうえで調査協力依頼を行った（記名式質問紙調査）。

*以下の条件で選定した328社

- ・2023年度学内合同企業説明会に参加依頼を送付した企業
- ・2019年度～2023年度までの5年間に就職者が1名以上

調査方法：各社宛にメールにて調査依頼を送付し、指定URL*によりWeb形式にて回答を求めた。回答にあたっては、各企業等の人事等担当者の考えに基づいた回答をしていただくよう依頼した。

*調査のためのWebサイトは、株式会社マクロミルのQuestantを使用した。

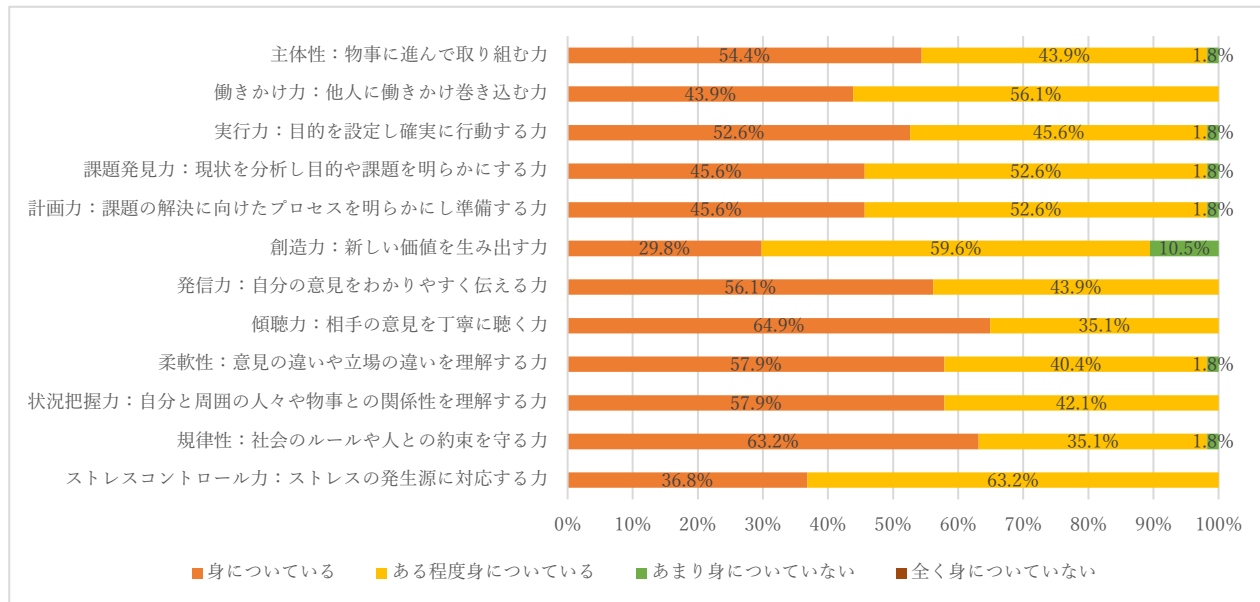
実施時期：2024年7月29日（月）から2024年8月26日（月）

有効回答率：17.4%(57件)

調査結果(抜粋)

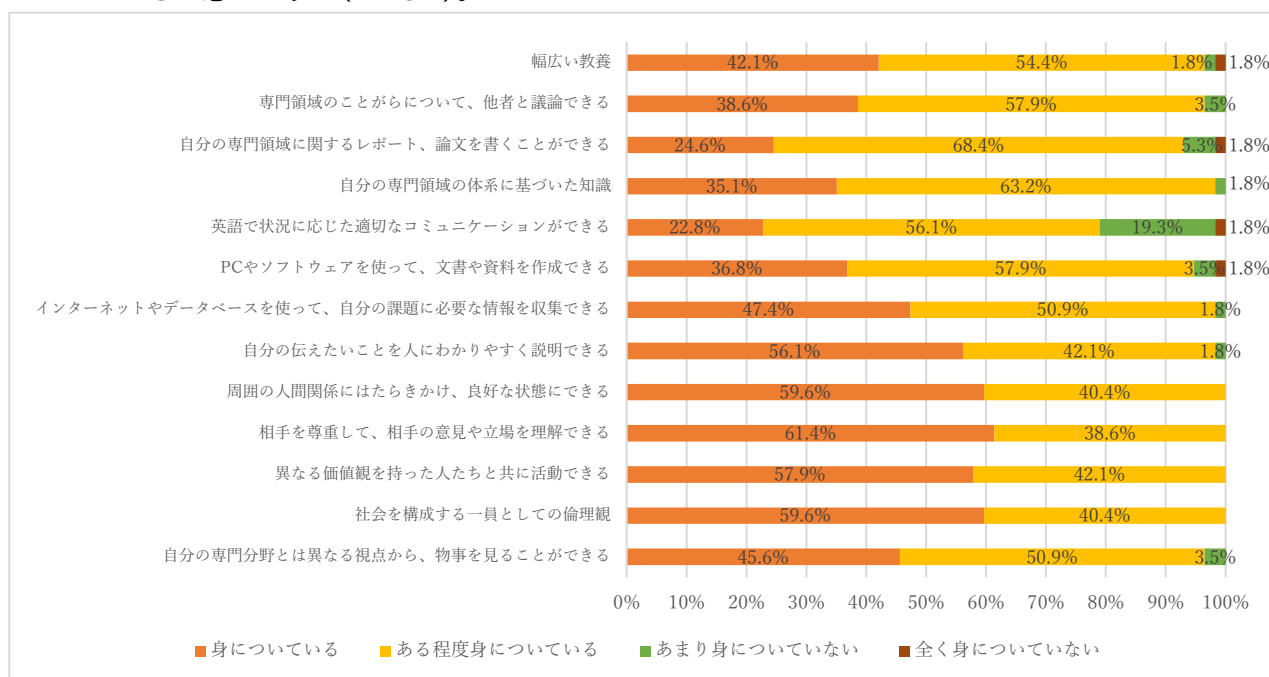
社会人基礎力に関する設問では、「働きかけ力」、「発信力」、「傾聴力」、「状況把握力」「ストレスコントロール力」の「身についている」、「ある程度身についている」を合算した肯定的回答が 100%でした。他の項目も 90%以上と概ね身についているとの回答が得られました。

設問2 以下の項目それぞれについて、大学卒業後3～5年目程度の立教大学出身者は他大学出身者と比べてどの程度身についていると思いますか(N=57)。



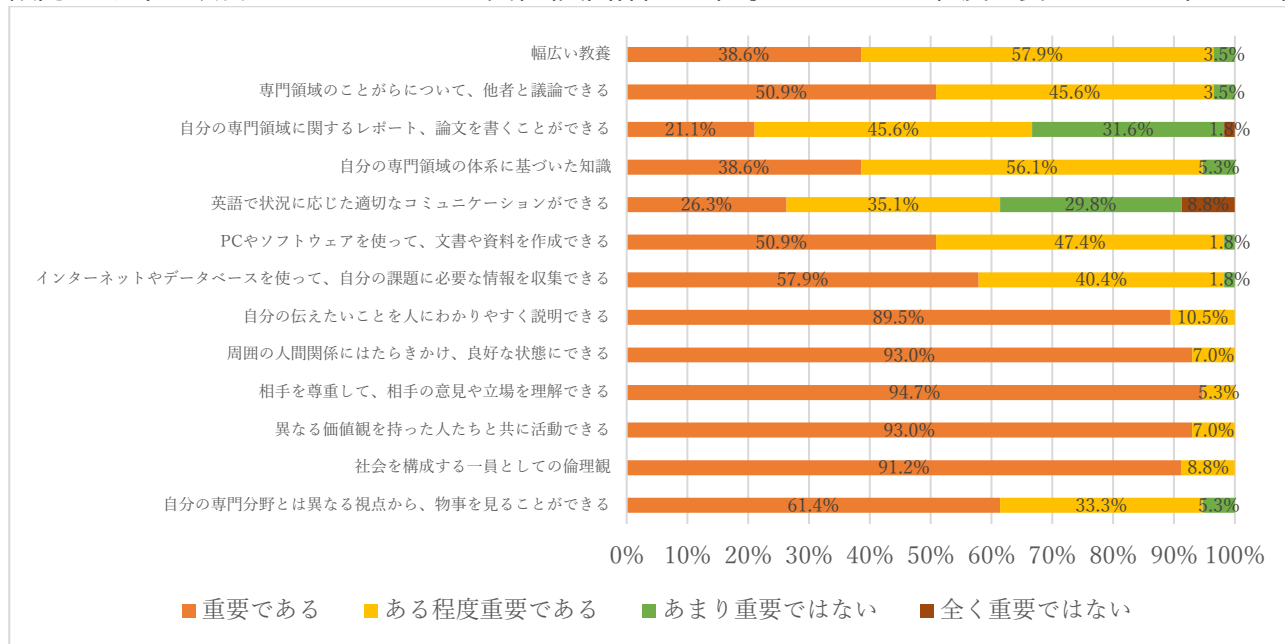
本学が設定する学修成果について、本学卒業生の修得状況について尋ねた結果、「周囲の人間関係にはたらきかけ、良好な状態にできる」、「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解できる」、「異なる価値観を持った人たちと共に活動できる」、「社会を構成する一員としての倫理観」において、「身についている」、「ある程度身についている」を合算した肯定的回答が 100%でした。一方、「英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる」については、肯定的回答は 78.9%と他の設問と比較して低くなっていました。

設問3 以下の項目それぞれについて、大学卒業後3～5年目程度の立教大学出身者はどの程度身についていると思いますか(N=57)。



本学が設定する学修成果について、企業等での仕事における重要性を尋ねた結果、「自分の伝えたいことを人にわかりやすく説明できる」、「周囲の人間関係にはたらきかけ、良好な状態にできる」、「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解できる」、「異なる価値観を持った人たちと共に活動できる」、「社会を構成する一員としての倫理観」で「重要である」、「ある程度重要である」を合算した割合は100%となっていました。一方で、「英語で状況に応じた適切なコミュニケーションができる(61.4%)」、「自分の専門領域に関するレポート、論文を書くことができる(66.7%)」に関しては、他の設問と比較して低くなっていました。

設問4 以下の項目それぞれについて、貴社(貴団体)での仕事にとってどの程度重要でしょうか(N=57)。



自由記述

「様々な状況で臨機応変に対応できる柔軟性を持ち合わせている卒業生が多い」や「周りを引っ張る力(リーダー的素養)のある学生・コミュニケーション力に長けている学生が多い印象」といった肯定的な意見が多く見受けられました。ただし、「良くも悪くもバランスが良い。強いリーダーシップというよりも協調性の高い職員の割合が多い印象。」という意見もありました。

アンケートにご協力いただいた企業等の皆様には、重ねて御礼申し上げます。全体的に非常に高い評価をいただきましたが、同時に、本学の課題も浮かび上がる結果となりました。今回の結果をこれからの教育改善・充実に活かしてまいります。今後も同様の調査を実施する予定となっておりますので、ご負担をおかけいたしますが、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

2024年10月
立教大学 大学教育開発・支援センター 教学 IR 部会